

令和元年度神奈川県ごみ処理広域化推進会議専門部会第2回について

次第

日 時：令和元年11月26日（火） 15：30～17：00

場 所：かながわ県民センター 301会議室（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）

時間	内容	説明等
15:30	開会	
15:30～15:35 (5分)	挨拶・資料確認	県資源循環推進課
15:35～15:55 (20分)	個別ヒアリング結果「施設の集約化とブロックの区割り」	県資源循環推進課
15:55～16:45 (50分)	個別ヒアリング結果「適正処理困難物等の広域的な処理」	県資源循環推進課
16:45～16:55 (10分)	広域化・集約化計画の策定スケジュールについて	県資源循環推進課
16:55～17:00 (5分)	事務連絡	県資源循環推進課
17:00	閉会	県資源循環推進課

＜配布資料＞

- ・出席者名簿
- ・資料1 「個別ヒアリング結果（施設の集約化とブロックの区割り）」
- ・資料2 「個別ヒアリング結果（適正処理困難物等の広域的な処理）」
- ・資料3 「計画策定スケジュール等（循環型社会づくり計画の改定）」
- ・参考資料 「市町村災害廃棄物処理計画の策定状況」

個別ヒアリング結果（施設の集約化と広域ブロックの区割り）

ブロック区割りの見直しのポイント

- ・現在の県内における広域ブロックは、次表のとおり 12 ブロックとなっています。
- ・また、12ブロックの中には、現在 28 つの焼却施設がありますが、施設更新等のタイミングで集約化を行い、今から 10 年後には 26 つの焼却施設になることが分かっています。
- ・今年 10 月から行いました個別ヒアリングの結果、現在のブロック構成で広域化を進めていくという多くのご意見を頂きました。
- ・広域ブロックについては、焼却施設の在り方の議論を進めつつ、今後もヒアリングを行い、区割りの見直し案をお示ししたいと思います。

1 施設の集約化の状況

現行ブロック名	人口 (万人)	面積 (km ²)	焼却施設 (稼働)		構成市町村
			R元年度	10年後 (暫定)	
横須賀・三浦	44	133	1	1	横須賀市、三浦市
鎌倉・逗子・葉山	26	73	2	1	鎌倉市、逗子市、葉山町
湘南東	72	119	3	3	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
平塚・大磯・二宮	32	93	1	1	平塚市、大磯町、二宮町
秦野・伊勢原	27	159	2	1	秦野市、伊勢原市
大和高座	58	93	2	2	大和市、海老名市、座間市、綾瀬市
厚木愛甲	27	199	1	1	厚木市、愛川町、清川村
南足柄・足柄上	11	380	3	3	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
小田原市・足柄下	23	255	4	4	小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町
横浜市	374	436	4	4	横浜市
川崎市	152	142	3	3	川崎市
相模原市	72	329	2	2	相模原市
合計	918	2,411	28	26	

2 施設集約化に係る市町村からのご意見

- ・住民サービスや住民負担の点からも課題は多いが、将来、人口減や焼却ごみ量の減少が続いても収益が取れるような施設（電力を供給できるような施設）として維持するためにも、ブロックを越えたごみを受け入れることも考えられる。
- ・近年、ごみ量が減り、燃やすカロリーが少なくなったことで、電力の売電量が少なくなり、効率が良くない。